

経済協力開発機構環境政策委員会 化学品プロジェクト拠出金

令和3年度概算要求額 **0.2億円（0.2億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 次世代の成長産業の核として研究開発が行われている工業ナノ材料は、その大きさ、形状、表面反応性等のために従来の物質とは異なる挙動を示す可能性が指摘されています。その安全性に関しては、国際的にも科学的知見が不足しており、経済協力開発機構（OECD）内で加盟国の協力の下にリスク評価手法等の検討が進められています。
- また、化学物質の効率的なリスク評価・管理の観点から、様々なデータ（細胞を用いた試験やコンピュータ予測から得られるものも含みます。）を統合して有害性を評価する手法体系（IATA）が世界的に注目されており、OECD内で加盟国の協力の下に検討が進められています。
- これら分野を我が国が主導していくために、OECD事務局に対して、これら活動を担当する職員を派遣し、所要の拠出を行います。

成果目標

- 平成18年度からOECDに拠出しており、工業ナノ材料の安全性プロジェクト、その運営を行う工業ナノ材料作業部会、IATAの検討プロジェクト等を担当するOECD事務局員を派遣するとともに、プロジェクトに積極的に参画します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

